

介護を調べるには

2016年3月作成 2023年11月作成

現在、日本における要介護人口は600万人を超えてきました。明日は我が身。介護される側、介護する側になるかもしれません。そんな時「認知症って?」「介護保険の使い方は?」「どうやって介護すればいいの?」など、突然のことにとまどい、悩むことでしょう。

ここでは、「介護」に関する情報収集に参考となる図書を紹介します。



パスファインダーでは、
毎回ひとつのテーマをとりあげて、調べ方のコツやヒントをご案内します。

愛知県江南市立図書館

〒483-8157 愛知県江南市北山町西 300 番地 toko+toko=labo3・4階

電話：0587-56-2306

FAX：0587-81-4121

URL：<https://lib-konan.aichi.jp/>

1 キーワードは何でしょう？

資料を検索する時に、手がかりとなるキーワードです。
いろいろな言葉をイメージしておくと、効率的な検索ができます。

在宅介護・高齢者介護・介護保険・介護サービス・高齢者福祉
介護食（ソフト食）・ケアマネジメント・デイサービス・認知症
バリアフリー・アルツハイマー

ポイント



検索機（OPAC）にキーワードを入力しましょう。
出てこないときは、キーワードを変えて検索してみましょう。

2 図書をさがしにいきましょう

ポイント



本棚に行くと、同じ分野の図書がまとまって並んでいます。
図書の背ラベルは、その分野を数字（分類番号）で表しています。

分類番号	
364	社会保障
367.7	老人問題
369	社会福祉
498.5	食品・栄養
598	家庭衛生

3 参考図書・・・まずは事典などで



専門分野の事典で用語や概略（全体像）を調べることができます。

『介護保険六法 1・2』令和5年版 《YR364》 中央法規出版 2023.8

『実用介護事典』改訂新版 《R369.0》 講談社 2013.7

『介護のしくみ』 《369.2》 講談社 2011.9

『新しい介護』全面改訂版 《369.2》 講談社 2014.1



図書館に所蔵している図書の一例

『図解介護保険のしくみと使い方がわかる本 最新版』《364》
牛越博文/監修 講談社 2021.9



はじめて介護保険を使う人、はじめて介護の仕事に携わる人に向け、介護保険を最大限に活用するために知っておきたいことを“見開き1テーマ”でイラスト図解する。困ったときの相談窓口等も掲載。2021年度改正に完全対応。

『40代から備える親の介護&自分の介護』《369.2》横井孝治/監修
世界文化社 2013.11



介護にかかわるお金はどれくらい？一人暮らしが無理になる信号は？気になる介護の疑問に答える書。介護が必要になったとき「あわてない」「困らない」「トラブルを招かない」ための知って役立つ介護情報を満載。

その他にも・・・

《保険》

『介護保険活用法 Q&A』 《364》 三好春樹/著 講談社

『ここが変わった！改正介護保険サービス・しくみ

利用料がわかる本』 2018～2020 年度版

《364》 川村匡由/監修 自由国民社

《介護食》

『誰でも作れておいしいやわらか介護食』《498.59》

寺島治/著 旭屋出版

『かみやすい飲み込みやすい高齢者のやわらか食 132』《498.59》

江頭文枝/著 学研プラス

《家庭介護》

『高齢者の日常生活サポート』《598》 桑原紀子/監修 学研教育出版

《手記》

『母さん、ごめん』《916マ》 松浦晋也/著 日経BP社

4 新聞や雑誌記事も有効です

新聞や雑誌の記事も参考になります。

過去の新聞は「中日新聞縮刷版」で見ることができます。

3・4階カウンターにてご案内いたします。

5 インターネットでは

関連機関のホームページです。最新の情報を得るのに便利です。

「介護総合情報サイト MY介護の広場」(明治安田システム・テクノロジー)

<https://www.my-kaigo.com/pub/>

「江南市高齢者生きがい課」(江南市ホームページ)

<https://www.city.konan.lg.jp/soshiki/kenkouhukushi/1002016/index.html>

「厚生労働省 介護・高齢者福祉」

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kai/go/kaigo_koureisha/index.html

6 江南図書館以外の情報も

当館に所蔵していない資料については、所蔵している図書館をお探しします。リクエスト用紙に記入し、カウンターにお出してください。

7 困ったときは

資料が見つからない、使い方がわからないなど、困ったときは、カウンターへどうぞ。いつでもお手伝いします。